

【最近のこれはお見事！】

『東京に来たばかり』東京の老婦人と中国から青年との心の交流を描いた映画。最近では一番お話と題名が合った題名では？

シネマズライフ

2013年11月15日発行 第51号

<http://p.booklog.jp/users/rion-takagi>

貴樹 諒音

【最近のこれはまずいぞ！】

『ケンとメリー 雨あがりの夜空に』懐かしCMと歌を思い出すが、中身はそれほど関係ないらしい。

映画の風景 日本の風景

※ 大阪の夜景 ※



暗い時代を背景に、愛しい女を探し求める男の悲しさが胸に沁みる。都令の夜はいつも明るいけどどこか退廃的だが美しい。それは、時代が変わっても同じような気がする。暗い過去を背負った女。いつも秋空を抱えているフリーリップ・マローウのような探偵は今も大阪の夜の街にもいるような気がするのだ。

手として歌っていた『フロリアンの店』に行くが、『ベルマ』の名前を出すと不穏な空気に、そこでついマローイは店の人間を殺してしまふ。彼を逃がしたマローウは『フロリアンの店』の元オーナーのジェシーを訪ね『ベルマ』の写真を手に入れ『ベルマ』はすぐ見つかると思われたが…。

昔、『オノの愛しき女』という映画があった。こんな映画だ。第二次世界大戦中のロサンゼルス。ある事件に巻き込まれた私立探偵のフリーリップ・マローウは、ロス市警のナルティ警部補に事の次第を説明していた。ある日、マローウはマローイという大男に『ベルマ』という恋人を探してほしいと頼まれる。『ベルマ』は、刑務所に入る事になった銀行強盗をした時に恋人だった女だ。早速、ベルマが歌手として歌っていた『フロリアンの店』に行くが、『ベルマ』の名前を出すと不穏な空気に、そこでついマローイは店の人間を殺してしまふ。彼を逃がしたマローウは『フロリアンの店』の元オーナーのジェシーを訪ね『ベルマ』の写真を手に入れ『ベルマ』はすぐ見つかると思われたが…。

『さらば愛しき女よ』1975年 アメリカ 監督：ディック・リチャーズ 出演：ロバート・ミッチャム シャーロット・ランプリングロラン シルバスター・スタローンが脇役で出ている事でも有名。シャーロット・ランプリングは『愛の嵐』を注目を浴びていた頃で怪しげな女は当たり役です。

最近、私が入れ込んでいる番組が『月曜から夜ふかし』。関ジャニ∞の村上信五とマツコ・デラックスが巷にある『どうでもいいうような話』妙にしつこく突っ込んで調査をする番組で、これが結構面白い。各県を調査するとか、長崎VS函館の夜景戦争勃発問題など、地元以外どうでもいい話が多く気楽に見える所が特徴。ところが、最近『株主優待』で暮らす桐谷さんが登場するようになってそれも言えなくなつた。東京在住の桐谷さんは『株主優待』でしゃかりきに生活する姿を追つたものだ。東京の街を自転車でする姿は圧巻！裏切らない『株主優待』に命をかける桐谷さん。バカというのもし訳ないが、愛すべきバカとも言えます。さて、今公開されている『地獄でなぜ悪い』にも、愛すべきバカがたくさんいらしゃいます。

最近、私が入れ込んでいる番組が『月曜から夜ふかし』。関ジャニ∞の村上信五とマツコ・デラックスが巷にある『どうでもいいうような話』妙にしつこく突っ込んで調査をする番組で、これが結構面白い。各県を調査するとか、長崎VS函館の夜景戦争勃発問題など、地元以外どうでもいい話が多く気楽に見える所が特徴。ところが、最近『株主優待』で暮らす桐谷さんが登場するようになってそれも言えなくなつた。東京在住の桐谷さんは『株主優待』でしゃかりきに生活する姿を追つたものだ。東京の街を自転車でする姿は圧巻！裏切らない『株主優待』に命をかける桐谷さん。バカというのもし訳ないが、愛すべきバカとも言えます。さて、今公開されている『地獄でなぜ悪い』にも、愛すべきバカがたくさんいらしゃいます。



コラム バカが必死な時代 だと思ふ件

『一生懸命』するべき事を見つからない若者にとつてあこがれなのかもしれない。

映画フリークの平田は、将来一世一代の名作を一本撮るのが夢、その為には子供にバカにされようが関係なし。バカを晒しているのもわからないバカです。一方、武藤組の組長は十年前、自宅を襲撃され妻のしずえが応戦。その為、子役をしていた娘は芸能界から干されてしまった。そこで娘の活躍を期待していた妻の為に映画を作る事を思いつき、回りまわって映画フリークの平田がその映画を演出する事に…というお話。映画バカともいふべき平田と下素人のクセに映画を作ろうとする組長もバカです。しかし、彼らの共通点の一つ。何事も『一生懸命』だという事。最近、若者で『さとり世代』と言つて『バカ』な事をしないという若者が多いと言われているが、しかし、『バカ』な事をしなくても何かが生まれるというのは昔からの必然だ。

『一生懸命』するべき事を見つからない若者にとつてあこがれなのかもしれない。

★【最近のこれはお見事！】は見事な映画の題名の紹介、反して【最近のこれはまずいぞ！】は「これは、まずいぞ！」と思う題名を紹介しています。

on air !

CS・BS放送のオススメ映画を紹介します！

CS・BSのオンエア時間は変更になる場合もあります。m(_ _)m

『容疑者Xの献身』

日本映画専門チャンネル

2008年 日本

監督:西谷弘 原作:東野圭吾
出演:福山雅治 柴咲コウ 松雪泰子 堤真一
北村一輝 渡辺いっけい

11月24(日)16:40 12月22(日)18:40

高校教師を努める石神は、数学において天才的な頭脳を持つゆえにいつも孤独だった。彼の唯一のなぐさめは隣の部屋に住む花岡靖子と娘の美里の隣から聞こえる声だった。ところが、ある日隣から異常な音がする。行ってみると靖子が元夫の富樫を殺してしまったところだった。そこで石神は怯える二人にある事を提案する…。やがて、富樫の遺体が発見され内海薫刑事が担当。調査の結果、元妻だった靖子が調査線に浮上する。しかし、殺人当日、靖子と美里は映画を見ていたという完璧なアリバイがあった…。捜査に行き詰った内海は、いつもの通り湯川学に相談する。事件を調べるうちに湯川は靖子の隣人が湯川の学生時代の友人・石神だった事に驚くが…。

テレビドラマの『ガリレオ』の映画版。福山雅治の湯川の過去が少しわかります。湯川と同じぐらいの変人・石神に堤真一が好演しています。

『亡国のイーゴリス』

日本映画専門チャンネル

2005年 日本

監督:阪本順治
出演:真田広之 寺尾聰 佐藤浩市 中井貴一 勝地涼 チェ・ミンソ
安藤政信 原田芳雄

11月19(火)13:30 11月23(土)14:00

ある日、訓練中の海上自衛隊護衛艦“いそかぜ”が乗っ取られた。乗っ取ったのは某国の工作員・ヨンファとそれに協力した副艦長・宮津。彼らは、自衛隊艦“うらかぜ”を撃沈させ、日本政府を脅かした。ミサイルを東京に向け、【僅か1リットルで東京中の生物を死滅させる威力を持つ“GUSOH”】の存在を発表しろというのだ。

日本政府は、仕方なくGUSOHの解毒剤とも言える爆薬“テルミット・プラス”を使用を決定するが実は“いそかぜ”には、ヨンファらを脅かす如月・仙石が船内に残っていた…。

昨今、日本の防衛意識が起こりつつあるが、それを予測した先駆的作品ともいえる。確かに絵空事のような話でもあるが、よく考えると“あり得る”のでは？と思えたりする。

真田広之がアクションスターの面目躍如。カッコいいですなあ～。

1978年 アメリカ
監督 脚本:コリン・ヒギンス

『ファールプレイ』

出演: -ールディ・ホーン
チェヴィー・チエイ
タドリー・ムーア



『ミカド』

イギリスのオペレッタ。日本を舞台にして、イギリス王室を風刺しているといわれているが、日本の描写はかなり加減である。

グローリアは、離婚したばかり。友人は恋人を作る事を進めるが、気乗りしない。しかし、パーティの帰り、ヒッチコックの男・スコットに乗せる。彼はグローリアにタバコの箱を預け、後で映画館会う約束を取り付ける。約東の映画館に行くと言は目撃者に倒れ、驚いたグローリアは助けを呼びに行くが、倒れた場所に戻ると彼は消えていた。誰か話と思うが、誰も話を信じてもらえない。翌日、グローリアは、怪しい男に追われ、あるバーに飛び込みそこにいた男に声をかける。男の名はスタンレー。とにかく逃げたい一心で彼の家に行くのだが…。

今や死後になった《ロマ》ンチックコメディの女王『知りすぎた男』の快作。ヒッチコックをベースに、暗殺事件に巻き込まれる『知りすぎた男』の驚きぶりがかわい。バーに飛び込んだ時に引つける男は、今で言うなら阿部サダヲって感じの『知りすぎた男』の正体は必見です。

★発行予定は第一・三金曜日、次回発行は12月6日です。

【編集後記】

☆やたらと台風が日本に上陸したと思ったら、今度はフィリピンで暴れた多数の犠牲者がでなりました。予想もされなかつた高波に襲われ、ご冥福をお祈りします。

…合掌…
m(_ _)m



シネマズライフ51号

発行人: 貴樹諒音

発行日: 2013年11月15日

cinemaz-life@movie.nifty.jp

告知ブログ

http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/

★読んで頂いてありがとうございます。よろしかったらコメントで感想をお叱りお聞かせください。よろしくお願ひします!!

貴樹諒音

シネマズライフ - cinemaz-life - 51号

<http://p.booklog.jp/users/rion-takagi>

著者：貴樹 諒音

メールアドレス cinemaz-life@movie.nifty.jp

著者紹介ブログ 『明後日の憂鬱』

<http://rion-mitugu.cocolog-nifty.com/mitayo/2012/01/post-bcc7.html>

《日本映画専門チャンネル》

『容疑者Xの献身』

『亡国のイージス』

映画の感想は現在・下記のサイトにアップしています。

ぜひ、ご覧くださいませ。

Yahoo!映画

rion_takagiのMyムービー

<http://my.movies.yahoo.co.jp/profile-g.uFIUaEfCFw6D1cq3gb5A-->

※& 他にもいろいろやってます。(^^;) ※&

お世話になっているインターネットTV

netchannel KYO

内で番組作ってます。

『カラフルタイムズ』

新タイプの映画紹介とコラムです。

m(_)m ダウンロードで鑑賞できます。 m(_)m

http://www.nc-kyo.com/watchtvprogram_karafuru.html

『オススメ犬映画』

<http://www.pet-c.net/column/movie/index.php>

犬の映画を紹介してます。

§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※

感想はこちらのコメント欄かメールを頂けたら幸いです。

cinemaz-life@movie.nifty.jp

§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※§※

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパブー (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社paperboy&co.